

静岡県資源環境技術研究会だより

□今回のもくじ

- 1. 「令和7年度 環境学習会
(次世代エネルギーとして期待される水素の活用事例)」の御案内

■ 1. 「令和7年度 環境学習会 (次世代エネルギーとして期待される水素の活用事例)」
の御案内

次世代エネルギーとして期待される水素の活用に関する知識と技術の向上を図るため、以下の学習会を開催します。関心のある技術者や経営者の皆様のご参加をお待ちしております。

記

- 1 日 時 令和7年12月10日(水) 午後1時30分～午後4時30分
- 2 開催方式 対面およびWeb会議システムによる配信(可能な限り現地にお越しください)
- 3 会 場 静岡県工業技術研究所 講堂(静岡市葵区牧ヶ谷2078番地)
- 4 内 容

講演1 午後1時35分～午後2時35分
「再エネ水素マルチエネルギー供給システムの実証研究」
講師：株式会社エノア 代表取締役 青野文昭 氏

【講演概要】再エネにより得られた水素を用いて燃料電池で発電するシステムにおいて、従来水素と熱利用までの利用が実証されているが、本システムでは水素による発電と熱利用だけでなく、水電解で得られる酸素と排熱をも使い尽くすシステムを開発し、本システムを長崎県壱岐島の陸上養魚場に設置し、実証研究を実施している。また本成果を活かし、現在では病院への実証研究も計画している。

講演2 午後2時40分～午後3時40分
「産業分野の脱炭素化に対するミウラの取り組み」
講師：三浦工業株式会社 水素・FC推進課 小峰進悟 氏

【講演概要】産業分野において、CO2排出量の約6割が熱利用を占めております。カーボンニュートラル社会の実現のために産業分野の熱の脱炭素化推進が非常に重要であり、脱炭素化手段の一つとして、水素への関心が年々高くなっております。ミウラのカーボンニュートラルに向けた取り組みと、その手段の一つである水素ボイラの特長・導入事例についてご紹介いたします。

見学会 午後3時50分～午後4時30分
※講演終了後、希望者には工業技術研究所の設備見学を実施します。

- 5 定員/参加費 40名(オンライン含め)/無料
- 6 申込方法 ふじのくに電子申請サービスからお申し込みください。
(利用者登録せずに申込みフォームへお進みいただくことも可能です)
https://apply.e-tumo.jp/pref-shizuoka-u/offer/offerList_detail?tempSeq=18410
※ご登録いただいた個人情報は連絡や情報提供、事務処理に利用します。
※出席者名簿は講演者に提供します。

7 申込締切 令和7年12月5日(金)午後5時

8 問合せ先 静岡県工業技術研究所 環境エネルギー科 菊池圭祐
電話:054-278-3026/E-mail:sk-kankyou@pref.shizuoka.lg.jp

●その他、御意見・御要望など何でも遠慮なく、下記宛てに御連絡お願い申し上げます。

静岡県資源環境技術研究会事務局 幹事長
静岡県工業技術研究所 環境エネルギー科長
岡本 哲志

〒421-1298 静岡県静岡市葵区牧ヶ谷2078

TEL 054-278-3026 FAX 054-278-3066

E-mail : sk-kankyou@pref.shizuoka.lg.jp
